

農林水産省動物検疫所 入省案内



日本の畜産を守る

農林水産省動物検疫所は、 共にはたらく仲間を募集しています

動物検疫は、海外から輸入される動物・畜産物などを介して家畜の伝染性疾病が国内に侵入することを防止するほか、海外に家畜の伝染性疾病を拡散するおそれのない動物・畜産物などを輸出することによって我が国の畜産の振興に寄与しようとするものです。

また、輸出入される犬・猫等を介して狂犬病が伝播されること並びに輸入されるサルを介してエボラ出血熱及びマールブルグ病が伝播されることを防止することにより公衆衛生の向上を図ることを目的としています。

さらに、こい、きんぎょ等の輸入水産動物を介したコイヘルペスウイルス病等の疾病の侵入を防止するため、水産動物の輸入許可業務も実施しています。

農林水産省では、人事院が実施する「国家公務員採用試験」とは別に「**農林水産省獣医系技術職員採用試験（総合職院卒者相当）**」及び「**農林水産省畜産系技術職採用試験（一般職相当）**」を設け独自に職員を採用しており、これらの職員は動物検疫所、本省等に勤務することとなります。

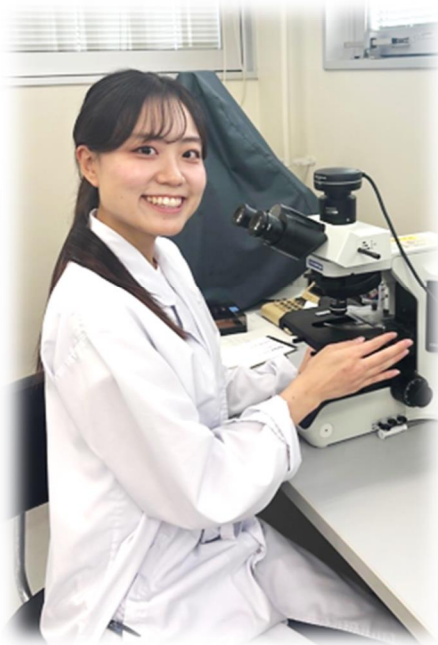
強い問題意識を持ち、広い視野と柔軟な発想の下、専門技術や知識を活かし、前向きにチャレンジしていくことができる人を求めています。

みなさんと一緒にはたらくことができる日を楽しみにしています。



CONTENTS

- 1 職場紹介
- 2 キャリアパス（職員紹介）
- 3 若手職員からのメッセージ
- 4 職員対談
- 5 就業体験実習・職場見学
- 6 Q&A



1 職場紹介

国際空港旅客ターミナル

私が紹介
します！



動物検疫所成田支所 旅具検疫第2課

下田 佳依
令和5年入省（畜産）

現在の仕事

私が勤務している空港の動物検疫所では、旅客の携帯品検査や犬猫の輸出入検査を行っています。

携帯品検査では旅客の手荷物やスーツケースの中に、検査が必要な畜産物等が入っていないかどうかを確認します。近年は旅客への声かけのほか、動植物検疫探知犬によって検査が必要な荷物の探知を行っており、探知犬の活躍は目覚ましいものがあります。

また、犬猫の輸出入検査に関するやりとりは、主にメールで旅客と連絡を取りながら進めます。犬猫を含む動物の検査は、獣医職の職員と畜産職の職員が連携して行っています。

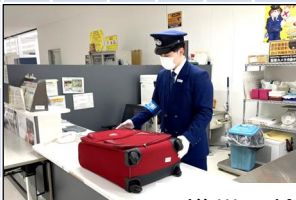
印象的な出来事

日本からスリランカへの犬の輸出検査が無事終了し、数日後、輸出された方から一通のメールが届きました。そこには、輸出検査への感謝の言葉とともに、スリランカの魅力が丁寧に綴られており、仕事の達成感に加えて、スリランカという国への興味が芽生えた出来事でした。

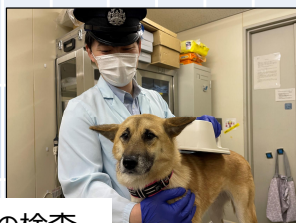
職場の魅力・やりがい

空港業務では、日本語を話さない旅客と接する機会が多くあります。そうした経験を通じて、日本とは異なる価値観や食文化への理解が深まることは、この仕事ならではの魅力だと感じています。

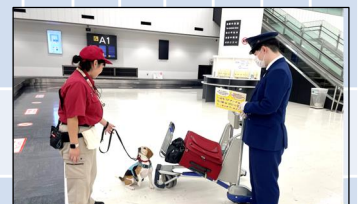
	勤務例 ※空港により異なる。																							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
(月) 遅番																								
(火) 遅遅番																								
(水) 夜勤入り																								
(木) 夜勤明け																								
(金) 週休日																								
(土) 週休日																								
(日) 日勤																								



携帯品検査



犬の検査



探知犬による
探知活動

海港

私が紹介
します！



動物検疫所 川崎出張所

永田 慶成
平成29年入省（畜産）

現在の仕事

川崎港で船舶貨物畜産物の輸出入検査を、川崎東郵便局で国際郵便物の輸入検査を行っています。

海外から輸入される畜産物の検査では、肉、乳製品等について、書類検査及び現物検査を実施します。海外へ輸出される畜産物の検査では、相手国の受入条件を確認の上、現地調査や書類検査、現物検査を実施します。

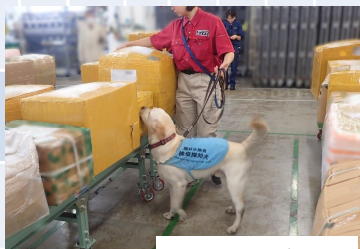


国際郵便物の検査では、荷物に含まれる畜産物を検査し、輸入の可否を判断します。また、動植物検疫探知犬による荷物の探知も行っています。

印象的な出来事

海外での家畜の伝染病の発生や国内の需要に応じて輸入される品目が変化することを、検査を通して肌で感じています。

職場の魅力・やりがい

海港の検査では、様々な国からの荷物を取り扱うため、多種多様な食品を見ることができ、その国の文化に触れることができます。また、空港とは異なり基本的に土日祝日が週休日のため、プライベートの予定を立てやすいところも魅力のひとつです。

	勤務例																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23										
(月) 日勤									現物検査 書類検査		休憩		書類検査 事務作業																					
(火) 日勤									郵便物検査		休憩		郵便物検査 事務作業																					
(水) 日勤									現物検査 書類検査		休憩		書類検査 事務作業																					
(木) 日勤									郵便物検査		休憩		郵便物検査 事務作業		船舶貨物 現物検査																			
(金) 遅番									書類検査		休憩		現物検査 事務作業																					
(土) 週休日 ※土曜勤務の場合もあります																																		
(日) 週休日 ※日曜勤務の場合もあります																																		
クルーズ船の携帯品検査を行っている 港もあります。																																		

港湾地域

クルーズ船の携帯品検査を行っている
港もあります。

家畜係留施設



肥育用素馬

新門司検疫場

私が紹介
します！



動物検疫所門司支所 検疫第2課

池田 愛美
令和6年入省（獣医）

現在の仕事

海外から輸入される動物（肥育用素馬、初生ひな等）が係留されている期間、採血・採材や精密検査、毎日の臨床観察等を実施し、動物が法律で定められた伝染病にかかっていないか検査しています。対象疾病の病原体は、ウイルス、細菌、寄生虫等多岐に渡り、獣医師の資格を大いに活かせる業務です。

動物が係留されていない期間は、各自調査研究課題に取り組んだり、空港で摘発される肉製品のウイルス汚染状況調査等の検査室業務を行う日もあります。

また、書類検査、輸入検疫証明書発行等のデスクワーク、業者との打合せもあります。




印象的な出来事

初めて臨機検査をした時です。駐機場から貨物航空機に乗り込んで馬の検査をするという業務は動物検疫所ならではのですね。

また、素馬が想像以上に大きかったことは印象的でした（約600kg!!）。

職場の魅力・やりがい

やはり生きた動物を検査することができる点が一番の魅力です。監視伝染病を摘発したことはまだなく、伝染病の侵入を水際で食い止めた！という経験はありませんが、自ら実施した検査結果を元に全頭の輸入検査が無事終了した時は毎回やりがいを感じます。

		勤務例（定時8:30～17:15）												
		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
（月）日勤			M T G	精密検査🍷 （ウイルス汚染状況調査）			休憩	業者との打合せ		デスクワーク 臨機検査準備				
（火）日勤			臨機検査🧬					休憩	搬入立会 個体確認👤		デスク ワーク			
（水）日勤		M T G	輸入検疫証明書 書類検査📄		デスク ワーク	休憩	試薬・採材準備		臨床観察👤					
（木）日勤	採血	M T G	採血・採材🧴 臨床観察👤			休憩	デスク ワーク	精密検査🧬 （塗抹作製・鏡検）						
（金）日勤		M T G	精密検査🧬 （遺伝子検査）			休憩	精密検査🧴 （抗体検査）		臨床観察👤					
（土）週休日														
（日）週休日	EVA-ELISA	休日はドライブ、旅行、買い物、家の掃除、お弁当作りなどをして過ごしています。												

休日はドライブ、旅行、買い物、家の掃除、お弁当作りなどをして過ごしています。

血液
塗抹鏡検

精密検査部

私が紹介
します！



動物検疫所（横浜本所） 精密検査部 病理・理化学検査課

小田原 寧々
令和2年入省（畜産）

現在の仕事

海外から輸出入される肉製品や動物の精密検査を実施します。SDS-PAGE（たん白質を視覚的に確認する手法）で加熱処理肉の加熱状況を確認したり、PCR検査で動物や輸入された肉製品にウイルスの遺伝子が含まれていないかなどの確認を行います。


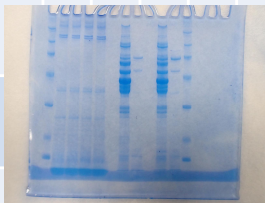

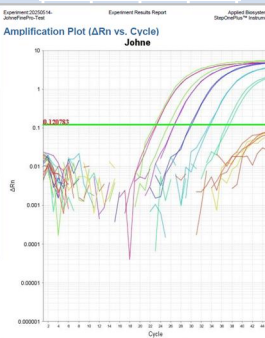
また、業務の更なる改善を目指し、調査研究を行っています。私は輸入畜産物の加熱処理状況の確認について、より簡便かつ迅速に加熱処理肉の加熱状況を確認する方法を探しており、たん白質の熱変性について研究を行っています。

印象的な出来事

空港の携帯品や国際郵便として持ち込まれた豚肉製品の一部について実施しているモニタリング検査で、頻繁にアフリカ豚熱ウイルスの遺伝子陽性が確認されることです。水際検疫が有効に機能していることがよく分かります。

職場の魅力・やりがい

普段の検査で疑問に感じたことや発展させたい面をとことん追求できることが魅力です。PCR検査の技術及び遺伝子解析に関して、スペシャリストとしての技能を身に付けることを目指しています。

勤務例																															
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23							
(月) 日勤									機器点検 検査室清掃		休憩		器具の滅菌等 事務作業																		
(火) 日勤									SDS-PAGE		休憩		SDS-PAGE																		
(水) 日勤									PCR検査 (生鮮肉)		休憩		PCR検査 (生鮮肉)																		
(木) 日勤									PCR検査 (魚粉)		休憩		PCR検査 (魚粉)																		
(金) 日勤									調査研究		休憩		調査研究																		
(土) 週休日									検査の合間にデータの整理や情報収集等の 事務作業を行います。																						
(日) 週休日	リアルタイムPCR								リアルタイムPCR の解析結果																						

2 キャリアパス

「農林水産省獣医系技術職員採用試験（総合職院卒相当）」又は「農林水産省畜産系技術職採用試験（一般職相当）」に合格し、動物検疫所採用となると、おおむね2～3年程度のサイクルで異動します。

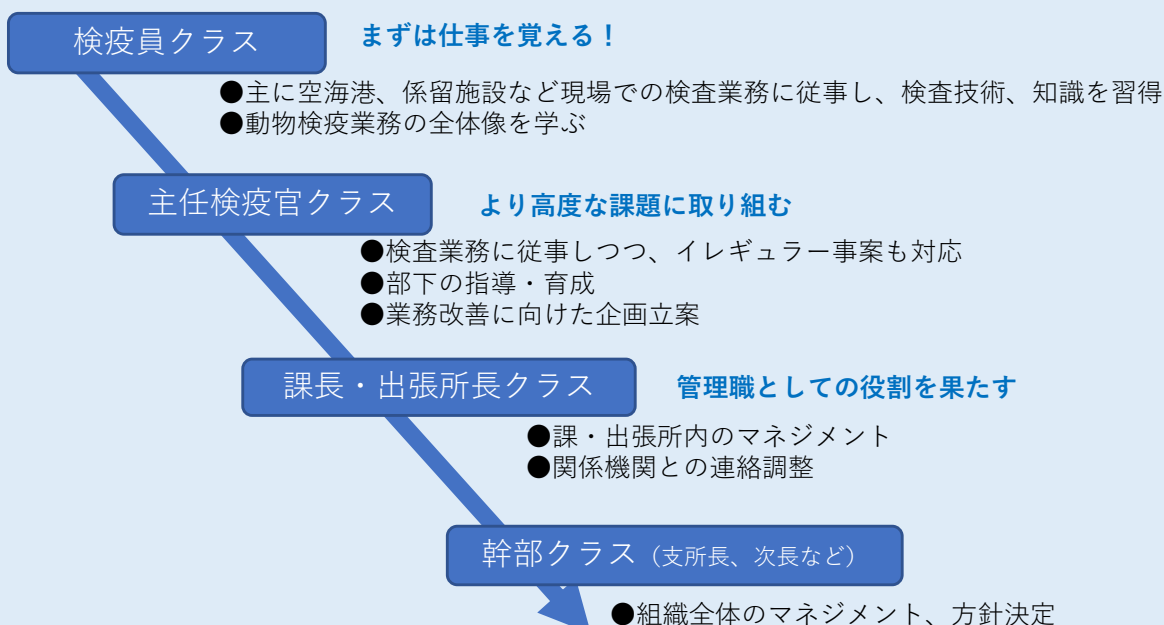
動物検疫所内で全国各地の空海港、家畜係留施設、精密検査部門、企画部門などを巡るケースもあれば、農林水産本省、他省庁、都道府県、独立行政法人、在外公館や国際機関といった様々な部署で働く機会もあり、多様なキャリアパス設計が可能です。

農林水産省職員の試験区分

	事務系（事務官）	技術系（技官）
総合職	<ul style="list-style-type: none"> ●院卒者試験 「行政」「法務」 ●大卒程度試験 「政治・国際」「法律」「経済」「教養」 	<ul style="list-style-type: none"> ●院卒者・大卒程度試験 「農業科学・水産」「農業農村工学」「森林・自然環境」「化学・生物・薬学」「工学」「デジタル」「数理学・物理・地球科学」「人間科学」 ●農林水産省獣医系技術職採用試験（総合職院卒相当） 採用数：計20名程度（年度により異なります） 勤務地：本省、動物医薬品検査所、動物検疫所
一般職	<ul style="list-style-type: none"> ●大卒程度試験 「行政」 	<ul style="list-style-type: none"> ●大卒程度試験 「農学」「化学」「物理」「農業農村工学」「機械」「デジタル・電気・電子」「林学」「土木」「建築」 ●農林水産省畜産系技術職採用試験（一般職相当） 採用数：計20名程度（年度により異なります） 勤務地：本省、動物検疫所、地方農政局等 ●農林水産省水産系技術職採用試験

※受験資格や過去の試験問題については、農林水産省Webサイトの採用案内ページを参照ください。また、試験対策などの役立つ情報が詰まった内定者アドバイス集も掲載しています。

入省後



職員紹介



竹口 加那子

動物検疫所中部空港支所
検疫課
検疫員

令和5年入省（畜産）
宮崎大学大学院
医学獣医学総合研究科 出身

入省の理由

大学在学中、2010年に宮崎県で発生した口蹄疫について学びました。当時の深刻な被害を知り、酪農家のお話を伺ったことで、日本の畜産を守るためどんな病気も入れてはいけなくと強く実感しました。また、先に動物検疫所に入省した友人から仕事内容ややりがい聞いたことが入省の決め手となりました。

キャリア紹介・今後の目標

初任地は羽田空港にある動物検疫所で、主な業務は旅客の携帯品検査や犬猫の輸出入検査でした。その後、中部空港支所に異動し、羽田空港支所で行っていた業務に加え、国際郵便物の検査を実施しています。

船舶貨物の検査など、まだ経験したことがない業務がたくさんありますので、どんどん新しいことに挑戦していきたいです。

動物検疫所の好きなおとこ

「動物」検疫所というだけあって、動物が好きな職員がたくさんいるところです。職場の方とは、おうちで飼っているペットのことなど、動物の話をたくさんします。

また、全国各地に支所がありますので、異動先の地を楽しむことができるのも魅力のひとつだと思います。休みの日は、観光地をまわったり、その土地のおいしい食べ物を楽しんだりしています。



略歴

令和5年	農林水産省入省（畜産系技術職員） 動物検疫所羽田空港支所検疫第1課 検疫員 （主な業務 犬猫の輸出入検査、旅客の携帯品検査）
令和7年	動物検疫所中部空港支所検疫課 検疫員 （主な業務 犬猫の輸出入検査、旅客の携帯品検査、 国際郵便物の検査）



前村 颯子

動物検疫所羽田空港支所
検疫第2課
検疫員

令和3年入省（畜産）
宮崎大学農学部畜産草地科学科 出身

入省の理由

小学生の頃に、地元に近い宮崎県で口蹄疫が発生し、多くの家畜の殺処分がなされた報道がとてもショックでした。大学で畜産について学び、動物検疫所の存在を知り水際防疫に携わりたいと思い入省しました。

キャリア紹介・今後の目標

入省し、成田空港で旅客の携帯品検査業務に携わりました。その後、沖縄支所で船舶貨物の輸出入検査やクルーズ船の旅客の携帯品検査を経験し、現在は犬猫の輸出入問合せ対応を行っています。

今後は、自分の経験をしていない業務内容にチャレンジしていきたいです。

動物検疫所の好きなところ

職員間の仲が良い所だと思います。業務をする上で些細なことでもすぐに質問等がしやすい環境ではないかと思います。

また、転勤で各地を巡ることが出来るのも魅力的なのではと思います。九州出身で関東、沖縄をめぐるキャリアですが、各地でカルチャーショックを受けています。



略歴

令和3年	農林水産省入省（畜産系技術職員） 動物検疫所成田支所旅具検疫第1課 検疫員 （主な業務 旅客の携帯品検査）
令和5年	動物検疫所沖縄支所検疫課 検疫員 （主な業務 船舶貨物の輸出入検査）
令和6年	動物検疫所 羽田空港支所検疫第2課 検疫員 （主な業務 犬猫の輸出入問合せ対応）



林 紗希

動物検疫所門司支所
福岡空港出張所
検疫員

平成28年入省（畜産）
日本獣医生命科学大学
応用生命科学部動物科学科 出身

入省の理由

大学在学中に海外へ旅行した際に「動物検疫」を知りました。その後、インターンシップに参加して先輩方の熱意と人柄に触れ、「こんな将来を歩みたい!」と入省を決めました。

キャリア紹介・今後の目標

羽田空港に配属後、携帯品検査に携わるうちに、検疫探知犬ハンドラーになる機会をいただきました。それからは羽田空港、関西空港などの大きな空港だけでなく、中規模、小規模の様々な空港で探知活動を行ってきました。

もちろんどこの空港も業務内容に変わりはありますが、空港ごとに様々な特色があるため、探知の方法を工夫する必要があります。今の私の目標は、どこの空港でも探知犬たちが生き生きと活動できるよう、各所の職員と連携して、最適な探知の方法で持込禁止の肉製品などを見つけていくことです。

動物検疫所の好きなところ

好きな動物は?と聞くと、家畜を挙げる職員がいるところです。また、焼肉に行くと、真剣に肉の部位について議論が始まり、「動検だな〜笑!」と盛り上がります。

業務では、ひとつの目標に向けて各々の職員が連携して行うことも多いので、皆で達成した時はやっぱりこの職場が好きだと実感します。



略歴

平成28年	農林水産省入省（畜産系技術職員） 動物検疫所羽田空港支所検疫課（現在第1課） 検疫員 （主な業務 ペットの輸出入検査、旅客の携帯品検査、検疫探知犬ハンドラー）
令和2年	動物検疫所沖縄支所那覇空港出張所 検疫員 （主な業務 ペットの輸出入検査、旅客の携帯品検査、検疫探知犬ハンドラー）
令和6年	動物検疫所関西空港支所検疫第1課 検疫員 （主な業務 検疫探知犬ハンドラー）
令和7年	動物検疫所門司支所福岡空港出張所 検疫員 （主な業務 検疫探知犬ハンドラー）



田甫 菜千香

動物検疫所成田支所
旅具検疫第1課
検疫員

平成27年入省（畜産）
北里大学獣医学部
動物資源科学科 出身

入省の理由

大学での勉強を生かした動物に携わる職業に就きたいと考えていたためです。また職場見学で検疫探知犬を見て、ハンドラーに憧れ入省を決意しました。

キャリア紹介

入省後は、船舶貨物や航空貨物で輸出入される畜産物検査、海外からフェリー・クルーズ船・航空機で到着する旅客の携帯品検査や輸出入される犬猫等の検査を経験しました。

入省5年目に検疫探知犬ハンドラー研修のチャンス进行いただき、約2年間ハンドラー業務に携わりました。



その後、産休育休を含め2年間の休業取得後、犬猫の輸出入手続を行う窓口に復帰し、現在は、犬猫の輸出入書類検査をメインに、旅客の携帯品検査も行っています。

育児と仕事の両立について

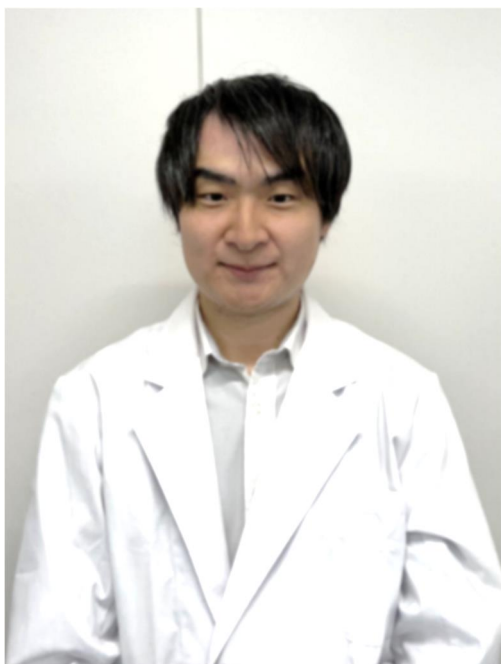
小学校就学前まで取得可能な育児制度は充実しており、保育園への送迎日は、育児時間等の制度を活用し、9時00分から15時15分までの勤務時間としております。

職場内は制度を利用しやすい雰囲気であり、家庭の状況に合わせて休暇、勤務時間等の相談ができることは、育児と仕事を両立する上でとても心強いと感じています。



略歴

平成27年	農林水産省入省（畜産系技術職員） 動物検疫所門司支所検疫第1課 検疫員 （主な業務 船舶貨物の輸出入検査、旅客の携帯品検査）
平成29年	動物検疫所成田支所支所貨物検査課 検疫員 （主な業務 航空貨物の輸出入検査）
平成31年	動物検疫所成田支所旅具検疫第2課 検疫員 （主な業務 検疫探知犬ハンドラー、旅客の携帯品検査）
令和3年	産前・産後休業、育児休業
令和5年	動物検疫所成田支所旅具検疫第1課 検疫員 （主な業務 犬猫の輸出入手続業務、旅客の携帯品検査）



日比 浩之

動物検疫所神戸支所
検疫課
主任検疫官

平成23年入省（獣医）
麻布大学獣医学部獣医学科 出身

入省の理由

もともと公務員という仕事に興味があり、その中でも動物検疫所は係留施設などの現場で直接海外から輸入される動物の検査するなど学んできた専門性を生かせること、また、全国に拠点があるため、その場所ならではの仕事や人との出会いがあることが自分にとって魅力的でした。

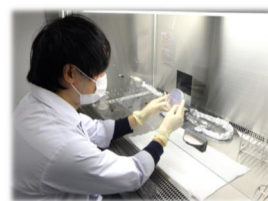
キャリア紹介・今後の目標

私はこれまで動物検疫所における輸入動物の検査業務や予算事務等に加えて、北海道に出向し畜産農家の家畜伝染病予防事務、農林水産本省での野生動物の伝染病対策の企画・立案など、多様な業務を経験してきました。

現在は係留施設で輸入動物の検査に従事しており、今後もこれらの経験を活かして、検疫業務の質の向上に貢献することにより、引き続き家畜伝染病の国内侵入防止に貢献していきたいと考えています。

動物検疫所の好きなところ

各地域にある職場で、異なる環境や課題に向き合うことで、新たな発見ややりがいを感じることができます。また赴任先でその土地ならではの文化や食べ物に触れられるのも、ちょっとした楽しみのひとつです。



略歴

平成23年	農林水産省入省（獣医系技術職員）
平成26年	動物検疫所精密検査部微生物検査課 検疫員 （主な業務 家畜の輸出入に係る精密検査）
平成30年	北海道十勝家畜保健衛生所出向 （主な業務 畜産農家の家畜伝染病診断、予防事務）
令和2年	農林水産省動物衛生課野生動物対策班 専門官 （主な業務 野生動物の家畜伝染病対策の企画立案）
令和4年	動物検疫所企画管理部企画調整課 主任検疫官 （主な業務 輸出入動物の検疫対応の企画調整、予算事務）
令和7年	動物検疫所神戸支所検疫課 主任検疫官 （主な業務 輸入家畜の係留検査業務）



青野 幹広

動物検疫所沖縄支所
検疫課
課長

平成元年入省（畜産）
宮城県農業短期大学畜産科出身

入省の理由

短大の時に先輩からの紹介で、動物検疫所を知り、海外から日本に輸入される畜産物の検査に興味を持ち動物検疫所を受験しました。

キャリア紹介・今後の目標

平成元年に成田支所に採用されてから35年以上が経ちました。動物検疫所の業務では、国際空港で、旅客の携帯品検査を行うことが多かったのですが、企画管理部門である企画調整課での勤務では、定員要求など現場では、体験できないような業務も担当することができました。

また、経営局では、動物検疫とは異なる家畜共済の事務に携わり、本省での業務仕方や他の法律等に触れ、物事の見え方の幅が広がったように思います。

今後もこれまでの経験を活かし、円滑な業務運営を行っていきたいと思います。

動物検疫所の好きなところ

人間関係が良いところです。

仕事を行っていく中では、難しい業務や業務量が多い部署など、大変な場面に遭遇することありますが、人間関係が良いと頑張れます。



略歴

平成元年	農林水産省入省（畜産系技術職員） 動物検疫所成田支所検疫第1課 検疫員（旅客の携帯品検査）
平成15年	農林水産省経営局保険監理官付家畜指導班 指導係長（家畜共済事務）
平成20年	動物検疫所成田支所検疫第1課 主任検疫官（旅客の携帯品検査）
平成22年	動物検疫所企画連絡室企画調整課 主任検疫官（企画、立案、調整業務）
平成25年	動物検疫所沖縄支所検疫課 課長（海上貨物の検査）
平成29年	動物検疫所成田支所 統括検疫管理官（航空貨物の検査）
令和 7年	動物検疫所沖縄支所検疫課 課長（海上貨物の検査）



國保 直子

動物検疫所羽田空港支所
支所長

平成5年入省（獣医）
日本獣医畜産大学（当時）
獣医畜産学部獣医学科 出身

入省の理由

子どもの頃、愛犬を連れて帰国した際に「犬は検疫が必要です」と14日間係留されました。就職活動を始めてその時のことを思い出し、動物検疫所成田支所で多岐に渡る業務を見学させていただいたことで、獣医師として働けるやりがいのある職業だ！と確信したので国家公務員試験に挑戦しました。

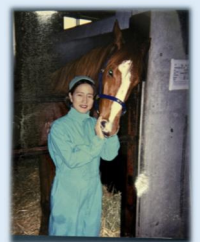
キャリア紹介・今後の目標

動物検疫所の職員として17年間、その他部署（農水省各局各課、動物医薬品検査所）で16年間、多くの経験をさせていただきました。これからも動物検疫所がより楽しく働きがいのある職場になるよう、そして畜産振興に貢献できるよう自分のできることを一所懸命やっていきたいと思います。

動物検疫所の好きなのところ（全部好きですが特に）
輸出入される家畜、畜産物や旅客を通じて全世界と繋がっていると実感できること。

略歴

平成5年	農林水産省入省（獣医系技術職員）動物検疫所成田支所検疫第2課 →第3課（旅客の携帯品検査、犬の輸出入検査、家畜の輸入検査）
平成10年	動物検疫所精密検査部病理・理化学検査課 （畜産物の畜種鑑別検査、輸出犬の血清検査 等）
平成19年	農林水産省国際部経済連携チーム国際専門官 （メキシコ、スイスとの経済連携交渉 等）
平成21年	消費・安全局動物衛生課課長補佐（リスク分析班） （輸入検疫に係るリスク評価体制の確立、二国間検疫協議等）
令和元年	消費・安全局動物衛生課課長補佐（輸出環境整備班） （日本産畜産物の輸出交渉 等）
令和2年	動物医薬品検査所企画連絡室長 （動物用医薬品の審査/検査/検定に係る企画連絡調整）
令和5年	動物検疫所企画管理部長 （動物検疫所の予算と定員の要求・確保等）
令和6年	動物検疫所羽田空港支所長 （羽田空港支所のマネジメント）





天川 清仁

(本省) 消費・安全局
動物衛生課 国際衛生対策室
検疫業務班
業務管理係長

平成31年入省 (畜産)
新潟大学大学院自然科学研究科 出身

入省の理由

幼少期から動物が好きで、大学では畜産を専攻し、漠然と動物に関わる仕事に就きたいと考えていました。そんな中、動物検疫所のインターンシップを通じて、自分も水際検疫等の業務を通じて、畜産の振興に寄与したいという思いから、農林水産省を志望しました。

キャリア紹介・今後の目標

最初の動物検疫所関西空港支所では、空港という非日常的な環境で、さまざまな国籍の方々に対応することにやりがいを感じる一方、広い空港内を歩き回り、また夜勤対応もあったため、想像以上に体力を要すると実感しました。

入省4年目からは本省に異動し、政策立案や国会对応など、スピードと正確さが求められる業務に取り組んでいます。現在の国際衛生対策室では、語学力に優れた職員に囲まれ、自身もさらなるスキル向上を目指して努力を重ねています。

動物検疫所の好きなところ

専門的な知識を持っている方が多く頼もしいです。また、困難な課題を前にした時に一丸となって取り組む雰囲気が好きです。



略歴

- | | |
|-------|---|
| 平成31年 | 農林水産省入省 (畜産系技術職員)
動物検疫所 関西空港支所 検疫第1課 検疫員
(旅客の携帯品検査、犬猫の輸出入問合せ対応) |
| 令和4年 | 消費・安全局 畜水産安全管理課 水産安全室 水産防疫班 係員
(水産動物に係る衛生条件協議) |
| 令和7年 | 消費・安全局 動物衛生課 国際衛生対策室 検疫業務班 係長
(本省と動物検疫所との調整業務) |

3 若手職員からのメッセージ



獣医系職員

舟木 芳

動物検疫所（横浜本所）精密検査部 危険度分析課
令和7年入省 日本大学 生物資源科学部獣医学科 出身

農林水産省を志望したきっかけや理由を教えてください。

学生時代に鳥インフルエンザや豚熱の国内発生により、食の安定供給が揺るがされる事態を経験したことをきっかけに、大学での学びを生かして水際検疫に広く携わることで食の安定供給を目指したいと考えたため農林水産省を志望しました。

担当している業務を教えてください。

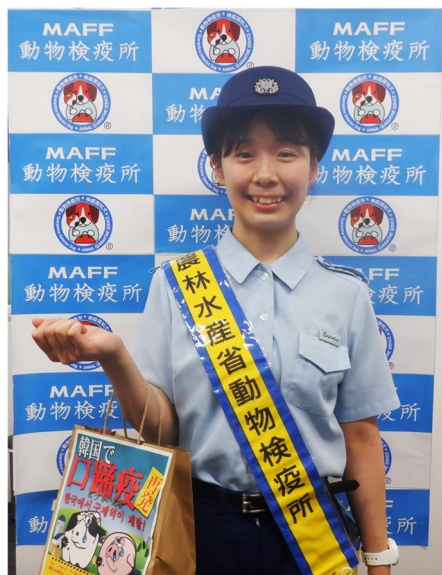
各空港から携帯品の検疫業務に関する情報を毎月収集し、分析を行っています。結果に変動があればその原因や現状の課題を考察し、各所への報告を行っています。

入省前と入省後でイメージは変わりましたか？

入省前は、決まった業務を淡々とこなすイメージがありましたが、実際には目まぐるしく変化する国際情勢や各国の家畜疾病の発生を意識しながら、家畜防疫官として根拠を持って判断することが求められる仕事だと感じるようになりました。

動物検疫所で働くことを考えている方、就職活動中の方へのメッセージをお願いします。

動物検疫業務は、世界と日本との繋がりを感じながら水際対策に貢献できるスケールの大きな仕事だと感じています。業務中は、疑問点があれば周囲に質問、相談しやすい環境が整っており、先輩方からいつも真摯にお答えいただけていると感じています。皆さんも動物検疫所だからこそできる仕事を一緒にしてみませんか？



畜産系職員

八木 沙織

動物検疫所門司支所検疫第1課
令和7年入省 日本大学 生物資源科学部動物資源科学科 出身

農林水産省を志望したきっかけや理由を教えてください。

動植物検疫探知犬をきっかけに農林水産省 動物検疫所を知り、「食」と「環境」を未来に継承するという共通の使命感をもって、大学で学んだことを生かして日本の畜産業の根幹を支える仕事ができることに魅力を感じ、志望しました。

担当している業務を教えてください。

先輩職員に教わりながら、関門港で貨物として輸出入される畜産物の検査や、ターミナルで海外から日本に入国する方に対して携帯品検査を行っています。また、イベントで外国からの肉製品の持ち込み禁止を周知する広報活動を行っています。

入省前と入省後でイメージは変わりましたか？

入省前は空港での携帯品検査が主な業務というイメージでしたが、実際には検査室でのPCR検査や不合格品の分析、海外出張なども含めて業務は多岐にわたり、様々な経験を通じて自身の能力を伸ばすチャンスが多くある職場だと感じています。

動物検疫所で働くことを考えている方、就職活動中の方へのメッセージをお願いします。

動物検疫所の魅力は、どの業務も日本の畜産業の振興と食糧安全保障を守っていると実感できる点だと思います。インターンシップなどで我々職員が自然体でいきいきと働いている姿を見て、一緒に働きたいと思っていただけたら嬉しいです。



獣医系職員

大枝 夏希

動物検疫所羽田空港支所検疫第1課
令和6年入省 酪農学園大学 獣医学群獣医学類 出身

農林水産省を志望したきっかけや理由を教えてください。

日本の酪農や畜産を守り、振興することに携わりたかったからです。大学時代に生きた牛や豚たちとの関わり、またそこに従事する農家の方々との関わりをとらえて日本の酪農と畜産に大変魅了されたことが農林水産省を志したきっかけです。

担当している業務を教えてください。

空港での携帯品検査、犬猫の輸出入検査及び動物の到着時検査等です。携帯品検査では旅客の荷物を検査して違反品の摘発や輸入される畜産物の検査を行っています。到着時検査は生きた動物を入国前に感染症の疑いがないかなどを検査します。

入省前と入省後でイメージは変わりましたか？

動物検疫所の業務は現場で働いてみると、入省前のイメージと比べて業務の幅が多岐に渡っており、入省後に業務の幅の広さに驚きながらも、楽しく日々勉強しながら業務に携わっています。

動物検疫所で働くことを考えている方、就職活動中の方へのメッセージをお願いします。

動物検疫所では日本の畜産、酪農を守るために水際対策を行っています。畜産物の検査から生きた動物の検査まで、業務の場所も空港や港、様々な場所で幅広く業務に携わることができます。ぜひ日本の酪農、畜産と一緒に守りましょう。

4 職員対談



同期入省の3人に、動物検疫所の仕事や雰囲気について聞きました。

(左)壺井 翔太
動物検疫所精密検査部
危険度分析課
令和2年入省（獣医）
岐阜大学 応用生物科学部共同獣医学科出身

(中央)吉田 南海
動物検疫所検疫部
動物検疫課
令和2年入省（畜産）
岐阜大学 応用生物科学部生産環境科学課出身

(右)吉川 沙也果
動物検疫所企画管理部
企画調整課
令和2年入省（畜産）
日本獣医生命科学大学
応用生命科学部動物科学科出身

職場の雰囲気を教えてください。

吉田：全体で助け合って仕事をしている職場、という印象です。
他の組織で働いている同期から、羨ましいと言われたことがあります。
壺井：そうですね。チームで仕事をしている、というイメージが強いです。
些細なことでも周りの職員に聞きやすいと思います。
吉川：何かあれば、上司や先輩が助けてくれる、という安心感がありますね。



実際に働いてみて意外だったことや、入省前とのギャップはありましたか？

吉田：入省前は、空港での携帯品検査の印象が強かったです。実際には、貨物検査や動物の検査など、本当に多くの仕事があり、想像していた以上にたくさん勉強することがあります。
壺井：私も、空港で働くイメージがありましたが、農林水産省の職員として入省していますので、本省や外部機関など、様々な道があるということを知りました。

吉川：動物検疫所の仕事は、想像していた以上に体力が必要な仕事が多いと感じました。貨物で到着する畜産物の検査では倉庫の階段を上ることも多いです。たくさん動くので、毎日おいしくご飯が食べられます。
壺井：郵便局での検査業務も体力を使う仕事ですね。
吉田：空港での仕事も体力勝負だと感じました。



どんな人が動物検疫所の仕事に向いていると思いますか？

吉田：転勤もあるので、新しい場所への順応ができる人は向いていると思います。
壺井：仕事でも生活でも、新しい場所へ行って、楽しい！と思えるとよいですね。
吉川：職員同士だけでなく、旅客とのコミュニケーションも必要になるので、人と話すことが好きな人も向いていると思います。また、新しい知識、技術を学んで自分のものにしていくことにやりがいを感じるができる人は、充実した毎日を送ることができると思います！



動物検疫所で働くことを考えている方へのメッセージをお願いします。

吉川：全国異動が大変、というイメージの方も多いと思いますが、実際に異動を経験してみて、色々な仕事をしていくことができ楽しかったですし、多くの経験をしたいという人にとってはとても良い職場だと思います。
吉田：動物検疫所という組織は他にはないため、ここでしかできない仕事がたくさんありますし、特別感もあります。
壺井：確かに、空港での旅客の携帯品検査や動物園動物の検査など、他では経験できない仕事は多いと感じます。
吉川：日本の水際を最前線で守ることができる唯一無二の仕事ですので、職員は誇りをもって働いています。まだまだ知名度が低い仕事ですが、動物検疫所で働いてみたいと思っていただけたら嬉しいです。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！



5 就業体験実習・職場見学

動物検疫所に対する理解を深めていただくため、就業体験実習（インターンシップ）等を実施しています。

■ 就業体験実習（インターンシップ）：例年8月～9月頃
詳細は、5月頃に動物検疫所Webサイトに掲載します。

■ オープン・カンパニー（半日～1日の現場見学会）：例年8月～9月頃
詳細は、5月頃に動物検疫所Webサイトに掲載します。

■ 見学会、短期体験実習、オンライン個別相談会など：実施時期不定
随時、動物検疫所Webサイトに掲載します。



動物検疫所Webサイト（採用関連情報）
<https://www.maff.go.jp/aqs/job/employ.html>

就業体験実習の様子（左：成田支所 右：横浜本所検疫部管理指導課）

就業体験実習に参加した先輩職員からのメッセージ

農林水産省 動物検疫所 関西空港支所



島田 紀菜

動物検疫所関西空港支所検疫第1課

令和7年入省（畜産）

日本獣医生命科学大学 応用生命学部 動物科学科 出身

参加した理由・きっかけを教えてください。

進路に悩んでいた時、大学の教授に勧められたことがきっかけで参加しました。

インターンシップでは、どんなことを体験しましたか？

私は、横浜本所企画管理部のインターンシップに参加させていただき、本省で行われていた広報活動に参加したり、防疫資材の管理を行ったりしました。空港など現場でのインターンシップでは、職員と一緒に旅客の方が肉製品を持っていないか検査することもあるようです。

印象に残ったこと、参加してよかったことを教えてください。

フランスにおける高病原鳥インフルエンザのワクチン接種開始について、仕入れを行っている食品会社さんに説明をする場を設けたり、日本国内で発生した豚熱に対して、人員や資材確保に動いたり、国内外の問題問わず迅速に対応していた様子が印象的でした。動物検疫所といえば、空港で探知犬と仕事をしているイメージが強かったので、裏で現場を支えている職員の方の姿はとても新鮮に映りました。

参加を検討している人へアドバイスをお願いします！

一口に動物検疫所と言っても業務内容が幅広く、様々な形で国内防疫に携わることが大きな魅力だと感じています。その魅力に気づくことができたのも、インターンシップに参加したからでした。少しでも動物検疫所に興味があるなという方はぜひ参加してほしいです！

入省理由

インターンシップを通して、広く水際防疫に関われることに魅力を感じ入省を決めました。

現在の仕事

主な業務は、携帯品検査です。旅客の方の手荷物の中に家畜の伝染性疾患を広げる恐れのあるものがないか確認をしています。その他に犬猫の輸出入検査も行っています。

6 Q&A

Q どのような人材が求められているのですか？

A 強い問題意識を持ち、広い視野と柔軟な発想の下、前向きにチャレンジできる人を求めています。

Q 大学の研究室で採用に有利・不利はありますか？

A 所属研究室による有利・不利はありません。様々な研究室出身の職員が活躍しています。

Q 院卒や社会人でも採用されますか？

A これまでも大学院卒業者や社会人経験者からも採用されています。受験できる年齢については受験案内をご確認ください。

Q 配属先機関はどのように決まるのですか？

A 人物試験（個人面接）の前に提出いただく身上書にて、配属先機関の希望をお聞きます。受験者の希望と面接での適性等を総合し、配属先（動物検疫所、本省など）を決定しています。

Q 動物検疫所採用となった場合、一年目から空海港の現場で勤務するのでしょうか。

A 畜産系職員の場合、基本的には一年目から全国各地の空海港で検疫業務に従事しています。獣医系職員については、一年目は動物検疫所横浜本所で半年間・本省（消費・安全局動物衛生課など）で半年間勤務した後、二年目から空海港の現場に配属されるケースが多いです。

Q 異動に関して希望は聞いてもらえますか？全国転勤ができるか不安です。

A 人事担当との面談、希望調書等を通じて、本人の希望、家庭の事情なども十分に考慮しつつ、組織としても経験を積んでいただきたい点等を踏まえ総合的に判断しています。

Q 育児休暇は男性でも取得できるのでしょうか。

A もちろん男性も育児休暇を取得可能です。動物検疫所では近年、男性・女性ともに育児休暇取得率は100%となっています。また、長期の育児休暇を取得する男性職員もいますし、育児休暇を終えた後に時短勤務を選択する職員もいます。

Q 入省後にはどのような研修があるのでしょうか。

A 入省1年目には初任者合同研修（3日間）、集合研修（3日間）などを受講するとともに、配属先で実施するOJTにより動物検疫所の業務遂行のために必要な基礎知識、技能及び能力の習得に努めます。

専門技術・知識を向上させるための研修として、所内で開催する家畜防疫官技術研修、病理組織診断基礎講座、農研機構動物衛生研究部門における病性鑑定技術研修（3か月程度）などもあります。

また、英語能力向上のために、職場でのTOEIC IPテスト受験が可能です（費用は職場負担）。研修の一つとして民間企業の英会話講座を受講する機会もあります（一部自己負担あり）。

Q 動植物検疫探知犬ハンドラーになるためには入省前に特別な資格が必要ですか？

A 特別な資格は必要ありません。農林水産省入省後に通常の家畜防疫官としての業務を経験した後、ハンドラーになることを希望する職員のうち、規定の選考及び訓練を経た者がハンドラー業務にあたります。これは人事異動の一環であるため、一定期間ハンドラーとして勤務した後は、また通常の家畜防疫官として検査業務に従事することになります。

※上記は農林水産省職員であるハンドラーの場合です。現在、動植物検疫探知犬ハンドラーの多くは民間事業者です。

